

## キャリア形成促進プログラムの基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
中国デザイン専門学校	1977年3月18日	田口 一子	〒700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12番地 (電話) 086-225-0791				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人第一平田学園	1977年3月18日	平田 眞一	〒700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12番地 (電話) 086-225-0791				
正規課程/履修証明プログラム	分野	プログラムの名称		開設年月日	生徒定員	修業年限・修業期間	
正規課程	文化・教養	造形専門課程社会人速成科		2014年4月1日	20人	1年	
開講時期	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日			直近の修了者数※2	修了者のうち就職者数※2	修了者のうち就業者数※2	
				2人	0人	0人	
プログラムの目的	社会人を対象にファッション・デザイン分野の知識・技術の習得およびキャリア能力形成のための学習および指導を実施し、修了時に学修内容に基づく企業等へ就業できる人材を1年間で育成することを目的とする。						
認定年月日※3	2019年1月17日						
対象とする職業の種類	ファッションデザイナー グラフィックデザイナー プロダクトデザイナー インテリアデザイナー	身に付けることのできる能力	■身に付けられる知識、技術及び技能 ファッションデザインおよびアパレル企画、アパレルパターン制作、広告デザイン制作、プロダクトデザイン制作技術  ■得られる能力 デザイン企画力、製作能力、ブランド展開能力				
カリキュラム内容	当学科では、フリーゼミ、情報デザイン検定によりデザイン業界についての基礎知識を修得するとともに、ドレス・コスチュームメーキングⅠ・Ⅱ、アパレルCADⅡ・Ⅲ、印刷DTP基礎Ⅱ・Ⅲ、VI計画Ⅰ・Ⅱ、パッケージ演習Ⅰ・Ⅱ、イラストレーション表現Ⅰ・Ⅱ、プロダクト企画Ⅰ、プロダクト制作Ⅰにおいてデザインの企画から制作までを一連の流れで行うこと等により、デザインに関する知識・技術を修得させる。その過程において、特にライフデザイン、ゼミ、インターンシップ、マーケット研究、プロダクト展示Ⅰ、プロダクト販売Ⅰのような実践的な授業方法等を行うことにより、卒業後に業界でデザイナーとして即戦力となる能力を修得させる。						
総授業時数又は単位数※4	3130 時間	要件該当授業時数又は単位数※4	3110 時間	企業等携授業時数	811 時間	要件該当授業時数/総授業時数※4	99%
社会人が受講しやすい工夫	■社会人が受講しやすい工夫の内容 (例)休日・週末・早朝・夜間の開講、長期休暇時における集中開講、IT活用、経済的支援制度の整備、補講の実施、託児サービスの実施、就職サポート等  ・修業年限を1年(実質9ヵ月)としている ・本校独自の奨学生制度採用者は入学金や学納金の一部給付を受けられる ・学生本人が都合に合わせて選択科目の時間割を組むことができる ・年2回の長期休暇中に集中講座を開講している ・就職相談や就職活動を職員がサポートしている						
成績評価の基準・方法	1科目ごとシラバスに設定した試験・報告書・実習作品当による審査を期末に行い、合格者へ該当科目の修得を認め単位を与える。考査の受験資格として授業時数の3分の2以上の出席および全課題の提出を必要とする。	プログラム修了要件	期末試験にて全必修科目に合格し、かつ全履修科目35単位以上の単位を取得することを修了要件とする。				
当該プログラムホームページURL	<a href="https://www.cdc-de.ac.jp/department/working/short.html#section001">https://www.cdc-de.ac.jp/department/working/short.html#section001</a>						

- (留意事項)
- 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定プログラムにおいては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください。
  - 「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」(※2)  
「直近の修了者数」、「修了者のうち就職者数」、「修了者のうち就業者数」の欄には、正規課程については公表年月日年度の前年度の実績人数を、履修証明プログラムについては公表年月日の時点において最後に修了者を出した直近の開講時期における実績人数を記入してください。各実績人数は、学校が把握している範囲での数字を記入してください。  
「修了者のうち就職者数」の欄には、推薦プログラム修了後に推薦プログラムの対象とする職業に就職した受講者数を記入してください。  
「修了者のうち継続在職者数」の欄には、推薦プログラム受講時に在職していた企業等に推薦プログラム修了時点において引き続き在職した受講者数を記入してください。
  - 認定年月日(※3)  
キャリア形成促進プログラムとしての認定年月日を記入してください。初回認定の場合は空欄としてください。
  - 授業時数又は単位数の表記(※4)  
推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。

1. 「対象とする職業に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校の社会人速成科は短期間(1年程度)で社会人を対象としたデザイン・ファッション分野の職業に必要な能力を修得を目指している。キャリア形成促進を目的とし、実践的かつ専門的な能力を育成する教育を目標としている。また、この目的・目標に応じて、企業等の要請を十分に活かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するために、デザイン・ファッション分野企業等の密接な連携により、実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいる。また、学生の就職先の業界における人材の専門性に関する動向、国又は地域の産業振興の方向性、新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能などを把握するため、教育編成委員会等の委員の所属先以外の企業等へのヒアリングやアンケート等も別途実施している。

本校独自の産学協同人材育成支援システム「CtoC System」

企業や地域との交流によるさまざまな実践体験は、学生たちの武器と考えます。

CHUGOKU DESIGN COLLEGE: 中国デザイン専門学校、COMPANY: 企業、COMMUNITY: 地域

「CtoC System」とは、本校と企業や地域を結ぶ情報ネットワークのことです。

業界の動向や人材育成についての最新情報を共有するためのプラットフォームとして、企業紹介やインターシップなどさまざまな活動を行っています。

企業紹介／求人依頼「Young DAM」

本校卒業生や企業間の求人・求職情報、ビジネスに関する提案などの提供とコーディネートを目的としています。即戦力になる人材や、短期間の技術アルバイト、パートの紹介にも対応。各関係者からの問い合わせは年々増えています。

企業紹介／制作依頼「DETCH(デッチ)」

企業や地域からの仕事の依頼を受け、在校生が中心になって活動する新インターンシップ制度です。

イベントの企画、デザイン制作、ショーへの協力など、学生の自由で豊かな発想を活かした取り組みが、高く評価されています。

企業紹介／交流イベント「CtoC Communication Project」

年に一度大々的に開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。

「Young DAM」「DETCH」を通じて培った企業との連携をより確かなものにするために、年に1回開催する交流イベント。本校と企業等、あるいは企業同士の情報交換や交流の場となっています。

企業紹介／合同説明会「CtoC就職ガイダンス」

岡山県下のデザイン／ファッション分野の企業の方々を目の前にする、就職面談同様のガイダンス。コミュニケーションを図ることにより就職への意識向上、マナーやプレゼン技術を実践的に試す機会として2年生を対象に3月に実施しています。

企業紹介／就業体験「インターンシップ制度」

数多くの企業の方々にご協力いただき、社会に出て仕事を体験するインターンシップ制度を充実させています。

ファッションデザイン科ビジュアルデザイン科インテリアプロダクト科では2年次に1回、

総合デザイン科では2年次に1回と4年次に2回インターンシップを実施し、自らの目標の仕事に触れる機会を設けています。





**Young DAM** 既卒生向け就職コーディネート

いろんなチャンスを活かして、支え合う。多方面に人材、出会いをコーディネートする。

◎「Young DAM」は中国デザイン専門学校卒業生や企業からの求人情報、ビジネスに関する提案などを提供・コーディネートすることを目的としています。また、即戦力になる求人や短期間の技術アルバイト、パートなどにも対応しています。

◎中国デザイン専門学校卒業生は今や10,000人を超えています。多方面に広がるネットワークを活用し、社会の動きに迅速に対応しています。

**システムの主な流れ**

**Young DAM お問い合わせ・申し込み**

Young DAM担当者にお問い合わせいただき、コーディネート内容や求人等を申し合います。条件をご確認後、申し込みをしていただきます。

近年、多くの求人依頼をいただいています。職からの社会経験が必要、高スキルとして働けるスキルが必要など、企業が求める人材への希望条件も様々です。YoungDAMでは、卒業生の動向調査などを行い、企業の幅広いニーズに対応できるように努めています。

**【企業紹介(企業から企業へ)】**

**内閣検討**

依頼内容などを具体的に伺い、スケジュールなど詳しく話し合います。

**情報提供・紹介**

希望に合った企業を紹介し、Club CtoCで紹介いたします。

成立!

**【企業紹介(企業から卒業生へ)】**

**求人票へ記入**

具体的な求人内容を、求人票にご記入ください。申請採用だけでなく、アルバイトなども受け付けています。

**人材紹介**

データベースから、ご希望の人材を検索し、紹介します。

成立!

**【求職(卒業生から企業へ)】**

**求職票へ記入**

卒業生は、スキルアップの為に転職する際、経歴や今まで携わった仕事の作品ファイルを持ち、求職票に記入。

**企業紹介**

求人票から検索し、合致する企業を紹介しします。

成立!

**デッチ DETCH**

**企業実習/制作依頼受注**

学生と社会をつなげる活動の場。ユーザーの評価を体験できるチャンスがある。

◎「DETC」は企業・地域から仕事の依頼を受け、在校生中心に活動をする、インターンシップ制度です。イベントの企画、デザイン制作、ショー等を学生の自由で豊かな発想を活かし、共同で制作をしています。

◎通常の授業や課題とは違い、実践的な作業は学生にとってかけがえのない経験となります。数多くの現場経験をこなしているからこそ、中国デザイン専門学校の学生は即戦力として社会に貢献できるのです。

くわしくは中国を

**CtoC System** 舞台は学校を越えて、グローバルな展開。皆さんとともに創り上げるコミュニケーションシステム。

**第21回 CtoC コミュニケーションプロジェクト実施報告**



第21回CtoCコミュニケーションプロジェクトでは、第一部は「学年別就職対策ワーク」というテーマで学年に応じた、就職活動ワークを行いました。また、第二部の企業・学生の交流会ではそれぞれの学科に分かれて情報交換や交流を行い、人材発掘の場としても活用されました。



**第21回 CtoCコミュニケーションプロジェクト**

- 開催日 / 2021年11月26日(金)
- 場所 / 中国デザイン専門学校
- 第一部 / 学年別就職対策ワーク  
専門課程2年生「令和就活スタートゼミ」  
専門課程3年生「令和就活ラストゼミ」
- 第二部 / 企業・学生の交流会



**CtoC 企業ガイダンス実施報告**

2021年度のCtoC企業ガイダンスでは、第一部としてグラフィック、映像クリエイターの株式会社DRAWING AND MANUAL様を講師として迎え、特別講演を行いました。

また、第二部の企業・学生の交流会ではそれぞれの学科に分かれて情報交換や交流を行い、人材発掘の場としても活用されました。

**2021年度 CtoC企業ガイダンス**

- 開催日 / 2022年3月18日(金)
- 場所 / RSK岡山本社内 TENJINS(テンジン9) 能楽堂(第一部)  
中国デザイン専門学校(第二部)
- 第一部 / 株式会社DRAWING AND MANUAL様 特別講演会
- 第二部 / 企業・学生の交流会



**ミニ異業種交流会 「Club CtoC」について**

毎日テーマを設けて楽しく語り合うミニ異業種交流会。これは企業サイドの考えや学校サイドの表情など様々な意見が飛び交う、有意義な会です。開催日時など、詳細は決定次第、DMや本校 Web サイトでお知らせいたします。

文部科学大臣指定 職業実践専門課程設置校  
文部科学省キャリア形成促進プログラム設置校  
学校法人第一平田学園  
**中国デザイン専門学校**

**TEL 086-225-0791**  
(受付時間) 平日 9:00~17:00 (土・日・祝日除く)  
Webサイト | PC | <https://www.cdc-dk.ac.jp>  
スマホ | <https://www.cdc-dk.ac.jp/m/>  
〒750-0842 岡山県岡山市北区船場町12  
E-mail | [info@cdc-dk.ac.jp](mailto:info@cdc-dk.ac.jp) | [www.cdc-dk.ac.jp](http://www.cdc-dk.ac.jp)



中国デザイン専門学校

# CtoC Communication Project

22<sup>th</sup> 発見・出会い ここから始まる可能性

## 第22回CtoCコミュニケーションプロジェクト

日時

2022年

11月25日 金

【第一部・第二部】参加費／無料

13:00～16:00

会場

岡山国際交流センター

岡山市北区奉還町2丁目2-1

### PROGRAM プログラム ※二部からの参加も受け付けます

受付開始 12:30～

第一部 13:00～14:30 特別講演会 特別協力：異業種交流会岡山 マスカット会

小早川氏による講演テーマ

## 『(志、凛々しさ、艶めき、たかまり)を テーマに開発した3代目 RX-7』

こばやかわ たかはる

### 特別講師 小早川 隆治 氏

経歴／1963年東洋工業（現マツダ）に入社。RX-7&モータースポーツ担当主査、北米マツダ副社長などの役職を務める。マツダ退職後はモータージャーナリストとしても活躍。日本自動車研究者ジャーナリスト会議監事を務める。



第二部 14:50～16:00 企業 × 学生交流会

今年度および次年度就職活動を行う本校在校生との交流会となります。ポートフォリオ持参の学生へアドバイスをいただくと同時に、企業様にとっては若き人材発掘の場となります。



学校法人第一平田学園  
中国デザイン専門学校

〒700-0842 岡山県岡山市北区船頭町12 TEL: 086.225.0791 FAX: 086.225.0792

文部科学大臣認定 | 職業実践専門課程設置校  
文部科学省 | キャリア形成促進プログラム設置校

instagram 公式アカウント  
cdccreations

LINE 公式アカウント  
c-dec

岡山 デザイン 専門学校 検索

E-mail: info-c@cdc-de.ac.jp





【第一部】特別講演会(特別協力:異業種交流会岡山 マスカット会)

「(志、凛々しさ、艶めき、たかまり)をテーマに開発した3代目RX-7」

特別講師:小早川 隆治氏(元モータージャーナリスト)



【第二部】企業と学生との交流会(異業種交流会)

交流会では次年度卒業を迎える学生を対象にファッション・デザイン・インテリア・プロダクトなどのデザイン業界に関わる企業様に参加いただき、情報交換会をおこないました。



自己PRのために作成したポートフォリオや名刺を持参して、直接企業の方々に猛アピール！



多くの企業の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました！

中国デザイン専門学校スタッフ一同

2023年2月

各位

中国デザイン専門学校  
校長 田口 一子

## CtoC企業ガイダンスのご案内

拝啓 向春の候、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育活動につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校はデザイン分野における職業教育機関として、常に産業界のニーズに応えるために、『CtoCシステム』（学外の方との交流を促す本校独自のシステム）を立ち上げ、企業の方との様々な取り組みに積極的に参加するよう努めております。

この度、当活動の一環として、次年度卒業学生対象の「CtoC企業ガイダンス（合同説明会）」を下記の通り実施する運びとなりましたのでご案内いたします。

つきましては、企業の皆様にご参加いただき、貴社の事業内容や採用等についてのご説明や、学生の作品集に対する業界人としての忌憚のないご意見・ご指摘を賜りたく、お願い申し上げます。

なお、誠に勝手ではありますが、会場準備の都合上、事前にご参加の有無を確認させていただきたいため、別紙の連絡票にご記入の上、3月3日（金）までにFAXまたはE-mailにてご返信いただけますと幸いです。

時節柄ご多忙の折りと存じますが、ぜひともご参加いただけますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

日時：2023年3月17日（金）13：30～16：00

場所：中国デザイン専門学校 本館（5F）  
岡山市北区船頭町12番地

参加学生：2024年3月卒業予定者 約40名

内容：貴社の分野に興味を持つ学生2～5名と  
ブース形式で面会

【ご説明いただきたい内容】

貴社の事業内容や求める人材・採用条件等

（詳しい内容は別紙をご参照ください）

お問い合わせ先：中国デザイン専門学校  
岡山市北区船頭町12番地  
CtoC企業ガイダンス係  
Tel 086-225-0791

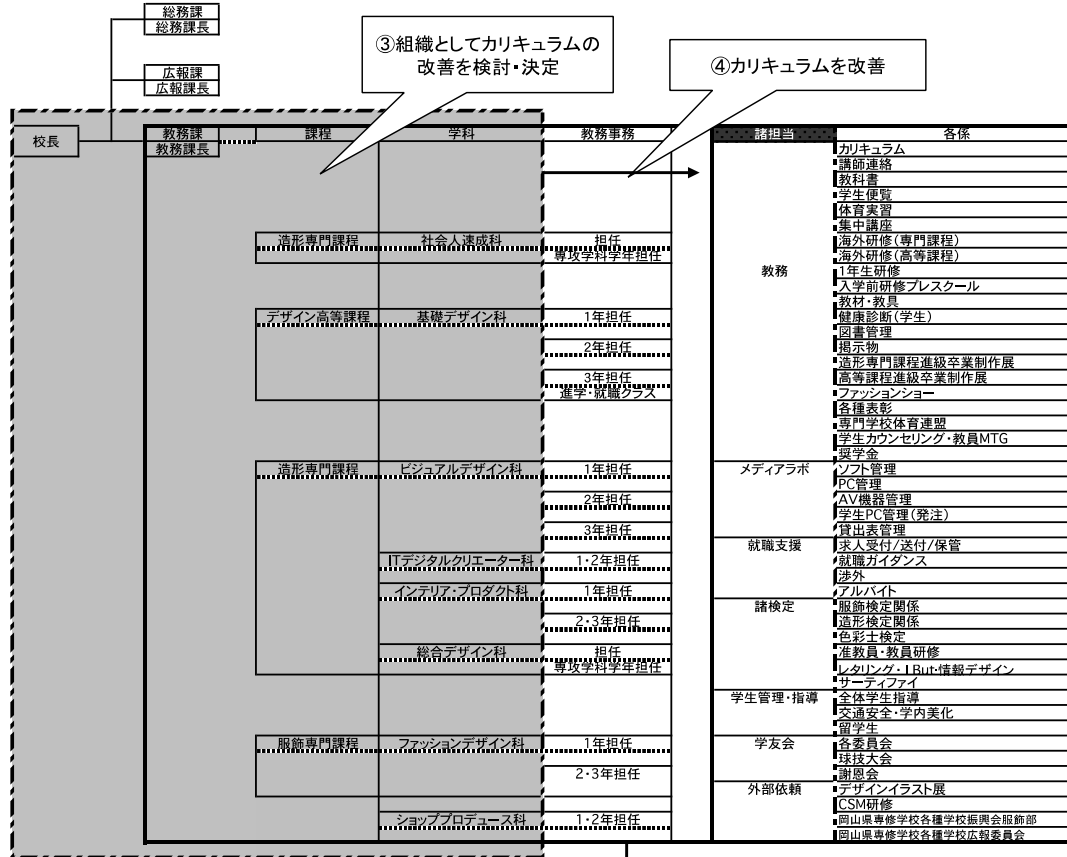






## (2) 教育課程編成委員会等の位置付け

2022年度中国デザイン専門学校 運営組織



学校法人第一平田学園 中国デザイン専門学校 教育課程編成委員会	
1	田口一子委員長(中国デザイン専門学校 校長)
2	平田真代委員(中国デザイン専門学校 事務長)
3	花田洋通委員(中国デザイン専門学校 教務課長・総合デザイン科担当・社会人速成科担当)
4	長船圭二委員(中国デザイン専門学校 ファッションデザイン科長・ショッププロデュース科長・総合デザイン科担当・社会人速成科担当)
5	宮脇成也委員(中国デザイン専門学校 ビジュアルデザイン科長・総合デザイン科担当・社会人速成科担当)
6	秋岡昌彦委員(中国デザイン専門学校 インテリアプロダクト科長・総合デザイン科担当・社会人速成科担当)
7	岡野英美委員(特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA 理事長)
8	守屋謙太郎委員(株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役)
9	丹羽雅人委員(株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役)
10	藤原敏嗣委員(famo.DESIGN STUDIO 代表)
11	藤森英樹委員(PATTERN STUDIO SYNERGY 代表)

- 教育編成委員会の位置付けに関する規程
1. カリキュラムの改善を図るために、本校運営組織の中に教育編成委員会を設置する。
  2. 教育編成委員会において、カリキュラムの改善への意見を提案する。
  3. 本校において、カリキュラムの改善を検討し、決定する。
  4. 本校担当者を中心に、カリキュラムを改善する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2022年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
岡野 英美	特定非営利活動法人 ENNOVA OKAYAMA 理事長	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	①
守屋 謙太郎	株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	③
藤森 英樹	Pattern Studio SYNERGY 代表	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	③
丹羽 雅人	株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	③
藤原 敏嗣	famo. DESIGN STUDIO 代表	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年間2回以上の開催をしている。(開催時期:毎年8月上旬・1月中旬)

(開催日時)

第1回 2022年8月8日 15:40～17:10 会場:本校会議室

第2回 2023年2月1日 10:30～12:00 会場:本校会議室

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第1回目

コロナの環境の中で様々なイベントが中止になる中で学校への思い入れ、つながりが薄くなっている。社会貢献度が高い学生が多いことがわかった。彼らに刺さるようなイベントや学校の環境設定を取り入れることはできないだろうか。この環境だからこそ、派生してきたイベントもあるのではないかと。共有化 多様性がキーワードになるかもとの意見を頂いた。

第2回目

社会人速成科では、オーダーメイドカリキュラムのため学年を超えての授業履修が可能となっている。クラス所属は就職対応もあるため3年生となっている。就職活動がメインとなるので忙しい。卒業制作と就職活動が重なるので大変。就職を最優先と考えるのであれば卒業制作はなくても良いのではという意見もあった。

2.「企業等と連携して行う授業等その他の実践的な方法による授業等が、別の定めるところにより、授業等の総時間数の一定割合以上を占めていること。」関係

(1)企業等と連携して行う授業における連携の基本方針

企業等と本校の連携によるインターンシップや本校独自の企業等からの業務委託「DEATCH(デッチ)」を通じ、本校の学生にデザイン・ファッション分野企業の現場及び業務を経験させ、学内では得ることが困難な実践的で幅広い見識と実社会への適応性を身につけさせることを目的とする。

(2)企業等と連携して行う授業における連携内容

※授業内容は方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本校2年次夏期休暇中を利用し、デザイン分野企業等におけるインターンシップ(1週間程度)を実施。また、本校独自の企業等からの業務委託「DEATCH(デッチ)」では次に定める項目を業務として実施している。

デザイン・ファッション分野企業等からの業務委託形式。

(1)コンペティション形式業務。

(2)現場実習形式業務。

(3)依頼制作形式業務。

(4)その他、協議のうえ別途合意した業務。

それぞれ学科内で組織的にカリキュラムや授業に落とし込み、担当教員は企業等のやりとり等の窓口は行うが学生の自主性を重んじ打合せや訪問等学生単身で行動させる。

上記すべての学修成果として企業等に終了後評価票を記入いただき、その反省改善点をまとめ学生へのフィードバック及び「教育の質の確保・向上」に向けて参考としている。



(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ビジネスマナ/インターンシップ	夏期期間の7月～8月にかけて、例年インターンシップ実習に取り組む。実習期間は5日～10日前後を設定。企業評価を受ける事を目的とする。	ドミンゴ・さえら・桑和・パターンスタジオシナジー/株式会社アドボックスフォトグラフィ/ペンギンファクトリー/株式会社マグリットデザイン室/ビジョンイメージファクトリー/株式会社中野コロタイプ/西崎泰正先生/株式会社ジャスト/株式会社スイッチ/デザインシータ/大原組/アトリエsabo/土井/丹羽設計事務所/家具のひらやま/坂田制作所/famo. DESIGN STUDIO/須浪亨商店/uramado kurashiki
ゼミ I	それぞれ講師の専門性を活かした内容の実習授業を行う。ものづくりに対する視野や専門性を高め、デザインや将来に対する理解を深める。企業連携・協同事業実習の為にライブペイントやシャッターペイントなどさまざまな活動をおこなう。	岡山葡萄酒園ロゴコンペ/岡山市産業政策課 県外企業誘致パンフレットコンペ/マスカット会25周年ロゴマークコンペ
ゼミ II	それぞれ講師の専門性を活かした内容の実習授業を行う。ものづくりに対する視野や専門性を高め、デザインや将来に対する理解を深める。企業連携・協同事業実習の為にライブペイントやシャッターペイントなどさまざまな活動をおこなう。	岡山東税務署 20歳未満飲酒防止キャンペーン動画 ポスター制作/ランプロオフィシャルTシャツデザイン/カフェ壁画制作/池田動物園ナイトZOOライトアップ企画
ライフデザイン⑤	企業連携事業として、イオンモール岡山と連携してハロウィンイベントのファッションショーを企画運営。岡山県警察本部と連携して、啓発活動用コスチュームをデザイン制作する。	イオンオール岡山・岡山県警察本部
ライフデザイン⑥	企業連携事業として、イオンモール岡山と連携してハロウィンイベントのファッションショーを企画運営。	イオンオール岡山
デニムジーンズゼミⅢⅣ	専門知識・技術を高めるだけでデニム加工企業と連携し、オリジナルジーンズ商品開発の能力を身につける。	SHAVE Co., Ltd
デニムジーンズ商品企画入門ⅠⅡ	専門知識・技術を高めるだけでデニム加工企業と連携し、オリジナルジーンズ商品開発の能力を身につける。	SHAVE Co., Ltd

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦プログラムの教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規定に定められていることを明記。

本校は関連分野における先進的な知識・技能等を修得するために「教職員研修規定」を定め、教職員の研修等に組織的・継続的に取り組んでいる。(専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修と、授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修)年度始めに教職員全員が研修年間計画を作成提出する他、必要により所属長の命令によって研修を指示する場合も研修費用は学校がバックアップし全体のレベルアップに努めている。

(2) 研修等の実績

① 推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等

ファッションデザイン(FD)対象

研修名「岡山県下家政系高等学校ファッションショーウォーキング指導講座」(連携企業等: )①2022年7月12日(火)②2022年7月12日(火)③2022年7月13日(水)④2022年10月5日(水)⑤2022年11月2日(水)⑥2022年11月16日(水) 内容:岡山県下家政系高等学校ファッションショーに向け、ウォーキング指導講座。①おおぞら高等学院岡山キャンパス2・3年約80名②岡山県立興陽高校被服デザイン科3年19名③岡山県立総社高等学校家政科3年40名④岡山県立岡山南高等学校被服デザイン科3年37名⑤岡山県立井原高等学校家政科3年対象者⑥岡山県立高梁高等学校家政科3年4名。

研修名「岡山県障害者技能競技大会(アビリンピック岡山大会)」(連携企業等: 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山支部)2022年7月16日(土) 内容:アビリンピック岡山大会の「縫製」競技専門委員として開催準備及び競技実施。

研修名「岡山県下家政系高等学校デザイン画指導講座」(連携企業等: )2022年11月29日(火) 内容:岡山県下家政系高等学校「デザイン画講習会」外部講師派遣授業。岡山県立倉敷中央高等学校家政科2年40名。

研修名「高等学校対象アパレルCAD講座」(連携企業等: )2022年7月6日(水)・9月22日(木) 内容:アパレルCAD講座外部講師派遣授業。岡山県立岡山南高等学校服飾デザイン科2年36名。

研修名「服飾大阪研修」(連携企業等: )2022年11月7日(月)～9日(水) 内容:YKKファスニングアワード最終審査ファッションショー及び展示会の見学。卸問屋にて価格帯や購入ルートの情報収集をおこなう等、資材の知識を高めるため研修。

研修名「岡山県生涯学習センター「おかやまこども応援人材バンク」出前授業」(連携企業等: 岡山県生涯学習センター)2022年9月13日(火) 内容:岡山市立城東台小学校6年生を対象にデザイン体験指導。

研修名「PM技術検定1級受験講座」(連携企業等: 大坂文化服装学院)2022年7月17日(日) 内容:1級検定試験課題内容の対策を知る為、パターンメイキング技術検定試験1級の対策講座に参加。

研修名「夢二郷土美術館企画展「竹久夢二×マツオヒロミ♥トキメキの大正浪漫♥／一時間旅行」」(連携企業等: )2022年8月16日(火) 内容:展覧会見学。

ビジュアルデザイン(VD)対象

研修名「『恐竜美術展－恐竜が美術館にやってきた! ?』を見てエコバックを作ろう」(連携企業等: 倉敷市立美術館)2022年7月30日(日) 内容:倉敷市立美術館でのくらしき市民講座「市立美術館でジェラシック・ワールド! 『恐竜美術展－恐竜が美術館にやってきた! ?』を見てエコバックを作ろう」のワークショップ講師。

研修名「子育て支援イベント講師」(連携企業等: 西大寺ふれあいセンター)2022年8月7日(日) 内容:西大寺ふれあいセンターにて、小学生対象夏休みこどもアトリエという小学生対象のお絵かき講座を担当。

研修名「親子税金教室ワークショップ」(連携企業等: 株式会社ビザビ)2022年8月7日(日) 内容:ルネスホールにて、小学生に税金の大切さを啓蒙するイベント「親子税金教室」にて税金についての、マンガ制作のワークショップ講師。

研修名「岡山県立岡山東商業高等学校『画像・動画編集』講座」(連携企業等: )①2022年4月20日(水) ②2022年4月27日(水) ③2022年6月1日(水) ④2022年6月29日(水) ⑤2022年9月7日(水) ⑥2022年10月12日(水) ⑦2022年11月2日(水) ⑧2022年11月30日(水) 内容:3年生課題研究「画像・動画編集」講座外部講師派遣授業。岡山県立岡山東商業高等学校3年生「画像・動画編集」受講者10名

研修名「京都グループ展」(連携企業等: )2022年8月2日(水)～8日(月) 内容:日本画、アクリル画、ペン画の分野からなる5名の作家が集まりグループ展『草創』開催。

研修名「Maya 初級トレーニング」(連携企業等:(株)Too)2022年10月28日(木) 内容:MAYAの基本的なところから、モデリング(形状作成)、アニメーション、レンダリング(CG出力)、リギング(要素の繋がり設定)、テクスチャ(表面材質)などを満遍に通り行なう講習に参加。

研修名「DTP基礎講座」(連携企業等:印刷技術協会 西部支社)2022年11月16日(水) 内容:企業の新入社員研修講義。

研修名「デザインを動かそう! イラレ × After Effects基礎入門」(連携企業等:MdNの教室 デザインアカデミー)2022年7月26日(火) 内容:基本的なAfterEffectの説明からIllustratorで制作したデータをAfterEffectで動かす方法の解説講座。

研修名「東京ミッドタウン・デザインハブ特別展 わたしのマチオモイ帖 10年をありがとう展見学 ドローイング&マニュアル企業訪問」(連携企業等: )2022年11月18日(金) 内容:展覧会見学と企業訪問。

研修名「東京都内博物館・美術館観覧」(連携企業等: )2022年11月19日(土) 内容:展覧会等観覧。

研修名「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展見学」(連携企業等: )2022年12月16日(金) 内容:展覧会見学。

研修名「バンクシーって誰? 展見学」(連携企業等: )2022年12月17日(土) 内容:展覧会見学。

研修名「岡山県立美術館 みんなの参観日/シンポジウム」(連携企業等: )2023年1月21日(土) 内容:シンポジウム参加。

研修名「ルーブル美術館展『愛を描く』・北欧デザイン展見学」(連携企業等: )2023年3月6日(月) 内容:展覧会見学。

#### インテリア・プロダクト(IP)対象

研修名「第33回学校との懇談会」(連携企業等:岡山建築設計クラブ)2022年6月25日(土) 内容:ワンデーエクササイズについての説明と関連企業交えた意見交換会。

研修名「インテリア・プロダクト科犬島研修」(連携企業等: )2022年9月2日(金) 内容:犬島精錬所美術館&家プロジェクト見学等。

研修名「インテリア・プロダクト科東京研修」(連携企業等:デザイン・フェスタ)2022年11月18日(金)～22日(火) 内容:デザフェス視察と都内建築物およびデザイン関連施設の見学等。

#### 全学科対象

研修名「ゼロ・ウェイストアクションホテル“HOTEL WHY”視察」(連携企業等: )2022年9月6日(火)～7日(水) 内容:SDGSの取り組みを学ぶ関連施設の見学等。

研修名「NFT事業について学ぶ」(連携企業等: )2022年12月24日(土)～25日(日) 内容:デジタルアートの売上のプラットフォームになり得るNFT事業の動きについて、どのような活動を行なっているのか視察。

研修名「岡山芸術交流2022」(連携企業等:岡山芸術交流実行委員会)2022年9月30日(金)～11月27日(日) 対象:全教職員 内容:岡山市で3年ごとに開催される国際現代美術展見学等。



## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新採用職員対象研修会(新人対象の教職員資質向上講座)」

第1回2022年7月20日(水) テーマ「専修学校について、本校について」

第2回2022年8月19日(金) テーマ「教員のあり方、学校職員のあり方について、入試について」

第3回2022年9月2日(金) テーマ「研修会まとめと質疑応答」

研修名「全体研修会(教職員意識の徹底、外部講師を招いてのテーマ研修)」各30分程度

2022年4月27日(水) テーマ「防災・消火・避難について」コバヤシ防災システム

2022年10月3日(月) テーマ「防災避難訓練」岡山市北消防署

2023年1月25日(水) テーマ「社会人として知っておきたい投資の基礎知識」中銀アセットマネジメント

研修名「専修学校教員教職課程研修(連携企業等:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 岡山県専修学校教員研修委員会)B類2022年8月23日(火)~25日(木) 内容:専修学校の概要や学生生徒指導及び授業の進め方など専修学校教員に必要な知識を学ぶ。

研修名「職業教育・キャリア教育に携わる全ての教職員のためのキャリア・サポーター養成講座(CSM講座)」(連携企業等:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団・岡山県専修学校各種学校振興会)2022年8月29日(月)~31日(水) 内容:学生生徒の職業観の熟成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生生徒自身が自律的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド(態度や姿勢・考え方)を養成する。

研修名「全専各連中国地区協議会総会並びに研修会」(連携企業等:全専各連中国地区協議会)2022年7月29日(金) 内容:総会と研修会参加。

研修名「高等専修学校協会教職員研修(連携企業等:高等専修学校協会)2022年12月7日(水) 内容:オンライン授業と18歳成人のリスク回避についての研修。

企業紹介/交流イベント「CtoC Communication Project」

年に一度大々的に開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。

2022年度「CtoC Communication Project」 2022年11月25日(金)

研修名「マスカット会」(連携企業等:)2022年4月19日(火)・5月18日(水)・6月15日(水)・7月20日(水)・9月21日(水)・11月25日(金)・12月21日(水)・2023年1月18日(水)・2月15日(水)・3月15日(水) 内容:異業種交流会。

研修名「二級心理カウンセラー講座」(連携企業等:日本プロカウンセリング協会)2022年4月17日(日)・5月29日(日) 内容:二級心理カウンセラーの養成講座受講。

研修名「発達障害アドバイザー研修」(連携企業等:一般社団法人発達支援アドバイザー協会)2022年8月18日(木)~3月31日(金) 内容:、発達障害の基礎知識、特徴体験、障がい体験・支援の基礎学習を行う。

研修名「ノウハウ共有オンラインセミナー~「メンタル面に問題を抱えている学生への対応・指導について」~」(連携企業等:一般社団法人全国専門学校情報教育協会)2022年12月28日(水) 内容:メンタル面に問題を抱えている学生への対応・指導についてのノウハウや情報の共有を図り、専門学校教育に活用するためのセミナー。

研修名「学生募集オンラインセミナー」(連携企業等:エデュース)2022年5月31日(火) 内容:withコロナ学生募集セミナー第7弾  
コロナ禍3年目、今考えるべき学生募集広報戦略セミナー。

研修名「『学びのセーフティネット機能の充実強化』調査研究地域振興分科会」(連携企業等:全国高等専修学校協会)2022年8月1日(月) 内容:文部科学省委託事業 学びのセーフティネット機能の充実強化高等専修学校実態調査アンケートの各単元の最終調整等。

研修名「「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」学びのセーフティネット機能の充実強化(調査研究)高等専修学校の機能高度化に関する調査研究 合同会議」(連携企業等:全国高等専修学校協会)2022年12月7日(水) 内容:高等専修学校の実態調査アンケート調査各単元の最終調整についてや地域連携委員会の実施状況について等報告。

研修名「全国高等専修学校協会 令和4年度研修会」(連携企業等:全国高等専修学校協会)2022年6月8日(水) 内容:スクールロイヤーの観点から見るリスクマネジメントについて。

研修名「電子帳簿保存法とインボイス制度への対応と実務」(連携企業等:私学経営研究会)2022年10月20日(木)  
内容:電子帳簿保存法について、インボイス制度の対応についてのセミナー。

研修名「厚労省委託事業セミナー」(連携企業等:ランゲート株式会社)2023年1月24日(火) 内容:「労働契約に関する基本情報」をはじめ、パートや契約社員等の安定的な活躍を促進する制度「無期転換ルール」や、2022年7月に改定された「副業・兼業の促進に関するガイドライン」について解説するセミナー。

研修名「専門学校留学生担当者研修会」(連携企業等:厚生労働省)2022年11月22日(火) 内容:「出入国在留管理行政の課題」「留学生に係る出入国審査・在留審査業務について」「専修学校留学生に対する支援について」。

研修名「MUFGビジネスセミナー」(連携企業等:三菱UFJリサーチ&コンサルティング)2023年1月13日(金) 内容:ハラスメント相談窓口セミナー。

研修名「社会人基礎力養成講座」(連携企業等:岡山経済研究所)2022年6月24日(金) 内容:、社会人基礎力とは他者から好感を持たれるような人間性を基盤として、能動的に業務にあたり、チームで協力しあえる能力であるとし、「ひとを思いやった行動をする」ような当たり前のことを継続できる人材が社会に求められるのだということを自己分析やグループワーク等を通じて学ぶセミナー。

研修名「レーザー<学費管理> Ver. 9.0 操作セミナー」(連携企業等:グレープシティ株式会社 レーザー事業部)2022年9月15日(木)~10月23日(日) 内容:学費システムの操作方法について基本的な部分を詳しく解説してくれるオンラインセミナー。

研修名「S-wing新仕様説明会」(連携企業等:穴吹カレッジサービス)2023年2月16日(木) 内容:S-Wingの新しい画面のバージョンアップ内容についてのZoom説明会。

研修名「受講者募集の勘所とポイント(プロモーション編)」(連携企業等:独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岡山支部)2022年10月21日(金) 内容:受講希望者を増やすためにはどうしたらいいのかというヒントを色々と提示してくれる講習。

### (3) 研修等の計画

#### ① 推薦プログラムが対象とする職業に係る実務に関する研修等

「教育の質の確保・向上を目的とした」教職員研修会と教員ミーティングを毎月行っている。

また、2ヶ月に一度開催している本校独自の企業・教職員との勉強会及び異業種交流会「CLUB CtoC」を15年以上行っている。

それぞれの研修会勉強会内にて企業等から講師を招いて教職員に対し関連分野における勉強会や学生指導、一般実務に関する知識、技術、技能などについて校内で組織的・継続的に行っている。また定期的に教職員研修会にて自主研修報告会を行い、教職員情報共有に努めている。

#### 年間教員研修計画

- 専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修
- 授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修
- その他

自主研修(各自がテーマを決めて年度内の研修を自主的に行う)

- ◎ 分野別企業訪問(デザイン分野で注目の企業への訪問)
- ◎ 作品企画と自主作品制作及び発表
- ◎ 専門分野のイベントや講演会に参加し、専門知識・技術や最新情報の収集
- ◎ 専門家との交流・意見交換・情報提供の企画と実施
- ◎ 外部から依頼のあったデザイン関連イベントにおける企画・運営及びシンポジウムパネリスト参加

#### ② 指導力の修得・向上のための研修等

##### ① 新採用教職員の学内研修会(新人対象の教職員資質向上講座:7月～8月までの計3回)

※内容—1回目「専修学校について、本校について」理事長・校長、2回目「教員のあり方、学校職員のあり方について」校長・総務課長・教務課長・広報課長、2回目終了後対象者約1000字程度のレポート作成「テーマ/本校教職員として学校へどう貢献すべきか」、3回目「レポート発表後研修会まとめと質疑応答」校長・総務課長・教務課長・広報課長

##### ② 全体研修会(教職員意識の徹底、外部講師を招いてのテーマ研修:年2回程度)

③ 職業教育・キャリア教育に携わる全ての教職員のための「キャリア・サポーター養成講座(CSM講座)」※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団 実施:岡山県専修学校教員研修委員会 毎年7月下旬3日間開催

④ 専修学校教員教職課程研修A類(毎年7月下旬間開催)、B類(毎年7月中旬間開催)※主催:岡山県専修学校教員研修委員会 ⑤ 全専各連中

国地区協議会総会及び研修会※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

⑥ 文部科学省補助事業 専修学校教育内容等改善研究協力校事業「中堅教員研修」科目:【教員のキャリアデザインワークショップ】【新任指導力】【学校の経営】【体系的カリキュラム・シラバス作成】【教育・指導力向上】【学級経営・学生対応】【リスクマネジメント】※主催:一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

⑦ 企業紹介/交流イベント「CtoC Communication Project」※年に一度開催。CtoCの総決算ともいえる学生と教職員、企業間の交流イベント。「Young DAM」「DETC」を通じて培った企業との連携をより確かなものにするために、年に1回開催する交流イベント。本校と企業等、あるいは企業同士の情報交換や交流の場。

⑧ 「CLUB CtoC」※2ヶ月に一度開催。本校独自の企業・教職員との勉強会及び異業種交流会

⑨ 指示研修(必要により所属長の命によって研修を指示する)



4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、卒業生、保護者とともに、各専攻分野企業等から委員が参画した学校関係者評価委員会を設置。特に、企業等との密接な連携による取り組みを重要と考え、学校評価を通じた組織的・継続的な教育活等の改善を基本方針と考えている。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか 1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか 1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか 1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか 1-1-4 理念・目的・育成人材像は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか 1-2 学校の特色はなにか 1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか 1-3 学校の将来構想を抱いているか 1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想をいっているか
(2) 学校運営	2-4 運営方針は定められているか 2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか 2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか 2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか 2-5 事業計画は定められているか 2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか 2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか 2-6-6 運営組織図はあるか 2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか 2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか 2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか 2-7-10 人事考課制度は整備されているか 2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか 2-7-12 賃金制度は整備されているか 2-7-13 採用制度は整備されているか 2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか 2-8 意思決定システムは確立されているか 2-8-15 意思決定システムは確立されているか 2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか 2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか 2-9-18 業務効率化を図るシステム化がなされているか

- 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
- 3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
- 3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、達成することが可能なレベルとして、明確に定められているか
- 3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達する事が可能なレベルとして、明確に定められているか
- 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか
- 3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか
- 3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか
- 3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか
- 3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか
- 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか
- 3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか
- 3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか
- 3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業のシラバスが作成されているか
- 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 3-14-10 学生による授業評価を実施しているか
- 3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか
- 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか
- 3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか
- 3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか
- 3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか
- 3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか
- 3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか
- 3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか
- 3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか
- 3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か
- 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか
- 3-17 資格取得の指導体制はあるか
- 3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか
- 3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか
- 3-18 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか
- 3-18-25 キャリア教育が行われているか
- 3-18-26 キャリア教育の実効性は検証されているか

(3)教育活動

<p>(4) 学修成果</p>	<p>4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか  4-19-1 学生の就職に関する目標を達成したか  4-19-2 就職成果との推移に関する情報を明確に把握しているか  4-20 資格取得に関する目標を達成したか  4-20-3 資格取得に関する目標を達成したか  4-20-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか  4-21 退学率の低減に関する目標を達成したか  4-21-5 退学率の低減に関する目標を達成したか  4-21-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか  4-22 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか  4-22-7 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか  4-22-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか  4-22-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか  4-22-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか</p>
<p>(5) 学生支援</p>	<p>5-23 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか  5-23-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか  5-23-2 就職に関する説明会を実施しているか  5-23-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか  5-23-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか  5-24 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか  5-24-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか  5-24-6 学生相談室を開設しているか  5-24-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか  5-24-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか  5-25 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか  5-25-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか  5-25-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか  5-25-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか  5-26 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか  5-26-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか  5-26-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか  5-26-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか  5-27 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか  5-27-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか  5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか  5-28-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか  5-29 保護者と適切に連携しているか  5-29-17 保護者と適切に連携しているか  5-30 卒業生への支援体制はあるか  5-30-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか  5-30-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか</p>

<p>(6)教育環境</p>	<p>6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか  6-31-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか  6-31-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか  6-31-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか  6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか  6-32-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか  6-32-5 学外実習、インターンシップ、海外研修等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか  6-33 防災に対する体制は整備されているか  6-33-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか  6-33-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか  6-33-8 実習時等の事故防止の体制は十分か  6-33-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか  6-33-10 防災訓練を実施しているか</p>
<p>(7)学生の受入れ募集</p>	<p>7-34 学生募集活動は適正に行われているか  7-34-1 学生募集活動は適正に行われているか  7-34-2 学校案内等は志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか  7-34-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか  7-34-4 募集定員を満たす募集活動となっているか  7-35 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか  7-35-5 就職実績、資格取得実績、卒業生の教育成果は、学生募集に貢献したか  7-35-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか  7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか  7-36-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか  7-36-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか  7-37 学納金は妥当なものとなっているか  7-37-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか  7-37-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか</p>
<p>(8)財務</p>	<p>8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか  8-38-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか  8-38-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか  8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか  8-39-3 年度予算、中間計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか  8-39-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか  8-40 財務について会計監査が適正に行われているか  8-40-5 財務について会計監査が適正に行われているか  8-40-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか  8-41 財務情報公開の体制整備はできているか  8-41-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか  8-41-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか</p>



(9)法令等の遵守	<p>9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>9-42-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか</p> <p>9-42-2 法令や専修学校設置基準の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか</p> <p>9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>9-43-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>9-43-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか</p> <p>9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>9-44-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか</p> <p>9-44-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか</p> <p>9-44-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか</p> <p>9-45 自己点検・自己評価結果の公開はしているか</p> <p>9-45-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか</p> <p>9-45-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか</p> <p>9-45-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>10-46 教育資源を活かした社会貢献</p> <p>10-46-1 教育資源を活かした社会貢献をしているか</p> <p>10-47 ボランティア活動の支援</p> <p>10-47-2 ボランティア活動の支援をしているか</p>
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者の評価結果や改善方策等のうち、特に企業等から参画した委員の意見については、学科の「カリキュラムや授業等の作成・見直し等」「産学官連携によるインターンシップ、実習等」「教職員の研修等」の教育活動やその他「教育理念・目的・育成人材像」「学生支援」等学校運営の改善等に活かせるよう考え取り組んでいる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2022年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
守屋 謙太郎	株式会社ケイズ・ユニット 代表取締役	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	企業等委員
藤森 英樹	Pattern Studio SYNERGY 代表	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	企業等委員
丹羽 雅人	株式会社丹羽建築設計事務所 代表取締役	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	企業等委員
藤原 敏嗣	famo. DESIGN STUDIO 代表	2022年4月1日～2024年3月31日(2年)	企業等委員
山下 忠義	株式会社Bit 代表取締役	2022年4月1日～2023年3月31日(1年)	企業等委員
奥辻 慈香	中国デザイン専門学校 教育助成会 会長	2022年4月1日～2023年3月31日(1年)教育助成会任期による	PTA
藤若 典弘(委員長)	有限会社ヴィジョンイメージファクトリー 代表取締役	2021年4月1日～2023年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(◎ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:URL: <http://www.cdc-de.ac.jp/info/release/>

公表時期:2023年6月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の学生が、どのようなカリキュラムを通じて知識・技術・技能を修得しているのか、また、質の高い教育プログラムを提供するために、学校としてどのような工夫・改善に取り組んでいるか等を具体的な教育情報を分かりやすく公表し、本校の特色ある教育活動を積極的に発信している。さらに、本校の基本的な教育組織等に関する情報のほか、教育情報の積極的な公表を通じて、本校教育の質の確保・向上を図ることが重要と考えている。以上情報提供の基本方針として取り組んでいる。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色</li> <li>● 校長名、所在地、連絡先等</li> <li>● 学校の沿革、歴史</li> </ul>
(2) 各学科等の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学者に関する受入れ方針及び入学数、収容定員、在学学生数</li> <li>● カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時間数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画)</li> <li>● 進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・修了の認定基準等)</li> <li>● 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等</li> <li>● 資格取得、検定試験合格等の実績</li> <li>● 卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)</li> </ul>
(3) 教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員数(職名別)</li> <li>● 教職員の組織、教員の専門性</li> </ul>
(4) キャリア教育・実践的職業教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリア教育への取組状況</li> <li>● 実習・実技等の取組状況</li> <li>● 就職支援等への取組支援</li> </ul>
(5) 様々な教育活動・教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校行事への取組状況</li> <li>● 課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)</li> </ul>
(6) 学生の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生支援への取組状況</li> </ul>
(7) 学生納付金・修学支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)</li> <li>● 活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)</li> </ul>
(8) 学校の財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 貸借対照表、収支計算書</li> </ul>
(9) 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己評価・学校関係者評価の結果</li> <li>● 評価結果を踏まえた改善方策</li> </ul>
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校運営の状況に関するその他の情報</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

( ◎ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <http://www.cdc-de.ac.jp/info/release/>

授業科目等の概要

分類	必修 選択 自由 選択	授業科目名	授業科目概要	授業時数/単位数	授業方法				実践的授業方法の種別			
					講義	演習	実験・実習・実技	企業連携	グループワーク	実務家授業	インターシップ	
	○	夏期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	17	1	△	○	△				○
	○	冬期集中講座	通常授業にはない各専門分野に特化した授業内容を3日間の実習または講義形式で行う。	17	1			○				○
	○	海外研修	ヨーロッパを約2週間かけて、旅行をする。オプションでイタリアまで行く。各自グループになり、スケジュールは全て学生が決めて自分達で行動する。参加者は事前にリサーチ、スケジュール作成などをし、研修後には報告会を実施する。	98	1			○	○	○	○	
	○	体育実習	夏期、冬期に分かれ、3日間の集中講座を行う。履修者はバドミントン、スキー、スノーボードから選択する。どの科目も基礎的なフォームから学び、初級、中級、上級コースで自分にあったレベルの技術を習得する。	34	1			○				
○		ビジネスマナー/インターンシップ	履歴書の書き方、電話対応、挨拶の仕方、面接対応、ビジネス能力検定3級取得に向けて試験対策。夏期期間の7月～8月にかけて、例年インターンシップ実習に取り組み、実習期間は5日～10日前後を設定。企業評価を受ける事を目的とする。	17	1	○			○		△	○
○		ライフデザイン⑤	協同性やチームワークを身につける為にライフデザイン合同企画をおこなう。また、企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。全科共通科目だが、FD/VD/FP学科・学年・クラス別にテーマや取り組み内容が違う。	119	1			○	○	△		
○		ライフデザイン⑥	協同性やチームワークを身につける為にライフデザイン合同企画をおこなう。また、企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。全科共通科目だが、学科・学年・クラス別にテーマや取り組み内容が違う。	34	1			○	○	△		
○		情報デザイン検定	情報デザインの基本要素「考案力」、「分析力」、「論理力」、「表現力」、「提案力」をJ検 情報デザイン試験公式テキスト「新試験対応版 J検情報デザイン完全対策公式テキスト」を使って学習する。J検 情報デザイン試験の過去問題を解きながら試験対策をする。	17	1	○						○
○		キャリアゼミⅠ	社会人としての基礎力向上、就職活動に向けての準備を行う。就職活動についての知識、理解を深め自己PRや振る舞い、マナーを実践的に学ぶ。	16	1	○			○			
○		キャリアゼミⅡ	社会人としての基礎力向上、就職活動に向けての準備を行う。各自に必要な就職活動の準備や卒業後のキャリア形成に向けての準備ができた状態。	34	2	○						○
○		企画書デザインⅠ	自分やチームのアイデアを「商品価値」まで高めビジネスに繋げる企画力を養い、市場価値が高い人材を目指す。企画、立案、プレゼンスキルを身につける。	51	3	○						○
○		ファッションデザインⅠ	パターンゼミと連動したパターンメイキングを使用しながら、シャツ・スカート・パンツ縫製、ディテールに特化した部分縫いを指定教科書を使用して制作していきます。西洋服装史は専用教材を使用し学習します。	51	3	○						○
○		ファッションデザインⅡ	縫製仕様書、工業用パターンを使用し、シャツの縫製を行います。	24	1.5	○						○
○		立体裁断Ⅰ	トワールやシルクピンの扱い方、立体から製図をおこなうことができるように学習する。	17	1	○						○
○		アパレルCADⅡ	原型を使ってマスターパターンの制作。パターンメイキングの基本操作をマスターする。	51	3	○						○
○		アパレルCADⅢ	前期からのレベルアップを目指し複合機能・縫い付の操作説明	34	2	○						○
○		卒業制作(FD)	学んできた集大成となる作品制作を行う。コンセプトプランからスケジュール管理、作品制作、プレゼンテーションまで、すべて学生自身で決めて実施していく。制作した作品は展覧会、ファッションショーという形で発表する。	187	3			○		△	○	
○		デザイン画表現Ⅱ	デザイン表現とプロポーションの確認をしつつ新しい技術及び画材での表現方法を学ぶ。コンテストにチャレンジし、入賞を目的としたデザイン及びデザイン画製作を目指す。	34	2	○						○
○		デザイン画表現Ⅲ	テーマ別のデザイン発想を、的確にデザイン画に表現する。また、企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。	34	2	○						○
○		デニムジーンズゼミⅢ	デニムカジュアルの基本アイテムであるベーカーパンツ、3rdタイプのGジャンを縫製し、レポートと仕様書を作成。アイテムの特徴を学習するとともに、後期のショーに向けての構想を練る。	51	1.5			○	○			○
○		デニムジーンズゼミⅣ	アイテムの背景や仕様、縫製、加工などのルーツと表現方法を掘り下げ、作品作りに生かす。作品とレポート、仕様書の提出。ファッションショーでのデニムシーン用の制作活動。	51	1.5			○	○			○
○		ドレス・コスチュームメイキングⅠ	ウェディングドレスのデザインからパターンメイキング、組み立てなど一貫した制作工程を学ぶ。ブライダルコーディネート技術を習得する。	51	1.5			○	○			○
○		ドレス・コスチュームメイキングⅡ	ドレスの構造、素材の種類などを知り1年を通してドレスを制作。ドレス制作に必要な副資材、芯地の種類や使用方法も学ぶ。また小物（コサージュ、ヘッドドレス、ウェール等）の制作、コーディネートも含む。また授業内で、企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。	51	1.5			○	○			○
○		パターンゼミⅠ	人体を用いて各部位の採寸方法を学んだ後、1/4縮尺原型と袖口定規を使用し、シャツ（レディース、メンズ）、パンツなどを製図。人体は丸みを帯びているので、ダーツを取りながら体に合ったパターンを作る。その為、ダーツ位置やダーツ移動などを学んでいく。	51	3	○						○
○		パターンゼミⅡ②	ディテールを組み合わせたトップス、ボトムス、ワンピースのパターンの考え方を学んでいく。	51	3	○						○
○		パターンゼミⅢ	基本原型を使って着込み分・体に対するゆるみ分を考え、バランスの取れた基本シルエットの出し方を学び、基本的な衿の考え方、二枚袖の考え方を足していき色々なジャケットの製図が出来るようになる。	51	3	○						○
○		パターンゼミⅣ	基本原型を使って着込み分・体に対するゆるみ分を考え、バランスの取れた基本シルエットの出し方を学び、基本的な衿の考え方、二枚袖の考え方を足していき色々なジャケットの製図が出来るようになる。	51	3	○						○
○		ファッションビジネス検定Ⅲ	ファッションビジネス能力検定2級対応テキストおよび、問題集を使用し「ファッションビジネス科目」を中心に講座を進める。検定対策として「ファッションビジネス能力検定2級問題集」にて復習をおこなう。	34	2	○						○
○		工業パターンⅠ	増検定まではガイドブックの内容の理解を深めていく。PM検定終了後はテラードジャケット（総裏付き）のファーストパターンを手作業で生地の手取り分、内回り・外回りを加味した量産用工業パターンを作っていく。	51	3	○						○
○		デニムジーンズ商品企画Ⅰ	アイテムを企画する力を高め、アパレルブランドの中で役割を果たす力を身につける。企画書作成、縫製仕様書が作成できるようになる。	34	1			○	○			○
○		デニムジーンズ商品企画Ⅱ	製品を売り出すために必要な仕上げの作業を行い、製品を作るところから出荷までの流れを身につける。アパレル製品の仕上げ作業を理解し、できるようになる。	34	1			○	○			○
○		衣装・美術造形Ⅰ	ドレスメイキング・舞台衣装・コスチュームなど制作衣装に伴う小物造形制作能力を学習し、独創的な発想を養う。また写真撮影を通じてスタイリング提案能力を高め、プレゼンテーション能力を向上させる。	34	1			○				○
○		衣装・美術造形Ⅱ	ドレスメイキング・舞台衣装・コスチュームなど制作衣装に伴う小物造形制作能力を学習し、独創的な発想を養う。また写真撮影を通じてスタイリング提案能力を高め、プレゼンテーション能力を向上させる。	34	1			○				○
○		サンプルメイキング	工業パターンⅠで作成した工業パターンを使ってレディーステラードジャケットの裁断・縫製加工	51	3	○						○
○		VⅠ計画Ⅰ	既成商品をつかって、各種販売促進ツールを制作する。ツールとしては基本的なポスターやPOPを中心に制作する。	51	3	○						○
○		VⅠ計画Ⅱ	ショップのVIを制作する。ターゲットの設定からショップコンセプト、各種ツール制作を行い、一連のデザインからブランディングを強める方法を学習する。著作権や商品表示法などについての講座も行う。	51	3	○						○
○		WebデザインⅠ	①HTMLによるページ構造 ②CSSによるページ装飾 ③Web制作のためのグラフィックパーツの制作	34	2	○						○

○	○	WebデザインⅡ	①HTMLによるページ構造 ②CSSによるページ装飾 ③Web制作のためのグラフィックパーツとページのデザイン	51	3	○				○	
○	○	イラストレーション技法Ⅰ	仕事としてイラストレーションを制作するために必要な人物の描き分けや、構図、色彩の重要性を学ぶ。	51	3	○				○	
○	○	イラストレーション技法Ⅱ	各媒体を想定し、実際のイラストレーション制作の現場での制作行程 アイデア出し、ラフの制作、ラフチェック、仕上げ、入稿までの順を追い、仕事に合わせた制作プロセスを学ぶ。	51	3	○				○	
○	○	CG演習Ⅰ	テーマや条件に沿ったキャラクターを制作し、Live2Dで動きをつける。	34	2	○					
○	○	CG演習Ⅱ	Live2Dで動きをつけたキャラクターをもとに映像編集を行っていく。	34	2	○					
○	○	エディトリアル演習Ⅰ	既存の雑誌や誌面を参考に、Illustratorを使ってレイアウト・文字組み・タイトルの見せかたなどの知識や技術を実践形式で学ぶ。課題提出時にはプレゼンテーションを行い「伝える力」を身につける。	51	3	○				○	
○	○	エディトリアル演習Ⅱ	グループ演習を通じて、「報告・連絡・相談」などのコミュニケーションの大切さや「チームで仕事をするとどういふことか」「社会とのつながり」を実践的に学ぶ。課題提出時にはプレゼンテーションを行い、デザイン意図を言葉で「伝える力」を身につける。	51	3	○				△	○
○	○	広告イラストレーションⅠ	イラストレーション制作を通じて、条件の中で最適と思うものを、自らアイデアを出し、考え、形にする。また、企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。	34	2	○				○	
○	○	広告イラストレーションⅡ	雑誌掲載用イラストの制作。行程説明用のイラストの制作を通じて広告媒体のためのイラストを制作する。	34	2	○				○	
○	○	キャラクター研究Ⅰ	既製商品をモチーフにキャラクターデザインを行い、イラストレーターとフォトショップで仕上げ制作を行う。	34	2	○					
○	○	キャラクター研究Ⅱ	自然物（主に野菜、虫等）からモチーフを選択し、イラスト、写真から発泡スチロール、粘度を使って立体化する。立体化後、オリジナルデザインのペイントをする。	34	2	○					
○	○	スケッチ・ドローイングⅠ	様々なスケッチやドローイング演習を通じて画力 表現力を向上させる。	34	2	○				○	
○	○	スケッチ・ドローイングⅡ	様々なスケッチやドローイング演習を通じて画力 表現力を向上させる。	34	2	○					
○	○	デジタルドローイングⅡ	基本形態（球体、立方体など）をデジタルドローイング機器を使用し描く。	34	2	○					
○	○	ストーリー演習Ⅰ	起承転結 序破急など 物語構成の手法を演習を交え学ぶ。また、絵コンテ、ストーリーボードを作成する。	34	2	○					
○	○	マンガ原稿演習Ⅰ	自分の描きたいテーマを把握し、話づくりの基本を学ぶ。ストーリーマンガの構成、ネーム制作までの制作過程を学ぶ。	34	2	○				○	
○	○	マンガアシスタント技術Ⅰ	投稿漫画制作	51	3	○				○	
○	○	デジタルマンガ演習Ⅰ	Clip Studioでのページレイアウト、コマ割り、文字入力など具体的なソフトの使用方法を学ぶ。	34	2	○				○	
○	○	デジタルマンガ演習Ⅱ	Clip Studioでカラーページの作成方法を学ぶ。授業で学んだことを応用してオリジナル作品を作成する。	34	2	○				○	
○	○	アニメ・動画制作Ⅰ	動画制作（走り、歩き、ふり向きなど）、アニメーションで通用する線のひき方の練習	34	2	○				○	
○	○	アニメ・動画制作Ⅱ	絵コンテ制作、原画作成、キャラクターデザイン	34	2	○				○	
○	○	デジタルアニメーションⅠ	Flash、edge animateを用いたデジタルアニメーション作品の制作。	34	2	○					
○	○	デジタルアニメーションⅡ	Flash、edge animateを用いたデジタルアニメーション作品の制作。	34	2	○					
○	○	パッケージ演習Ⅰ	企業担当者数名が授業を行うことで、実際のビジネスとしてのデザインに触れながら、パッケージデザインについての基礎知識を学び、実際の方法を体験する。	51	3	○			○	○	
○	○	パッケージ演習Ⅱ	パッケージ演習Ⅰに引き続き企業担当者による授業を行う。パッケージデザインについての応用を演習を中心に学びながら、様々な形態のパッケージデザインに挑戦し、経験を積み、自分たちでグループ制作を行う。	51	3	○			○	△	○
○	○	フォト	屋外撮影を取り入れ実践に即した授業内容にする。	34	2	○				○	
○	○	印刷OTTP入門	印刷が現場で使われているAdobe社ソフトを使って印刷媒体を制作する。印刷に関する基礎知識を身につける。	34	2	○				○	
○	○	印刷OTTP基礎Ⅰ	IllustratorとPhotoshopを使いトレース技法、素材制作 クライアントを想定したレイアウトを学ぶ。	34	2	○				○	
○	○	映像制作Ⅰ	カメラなど機材の基本的操作法を学ぶ。グループ制作を通して個の役割を理解する。基本的な専門用語の理解。実写イメージのアニメ、コミックへの応用。	51	3	○				○	
○	○	ゼミⅠ	企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。VD/IP学科共通科目名だが、VD/IP学科・学年・クラス別にテーマや取り組む内容が違う。	51	1.5				○	○	△
○	○	ゼミⅡ	企業連携・協同実習事業・コンペ制作などもおこなう。VD/IP学科共通科目名だが、VD/IP学科・学年・クラス別にテーマや取り組む内容が違う。	51	1.5				○	○	△
○	○	コンセプトメイキングⅠ	卒業制作に向けて知識技術をまとめ総括した制作物を作成するための企画立案、準備を行う。	34	1				○		
○	○	卒業制作(VD)	作成したプランに沿って、卒業制作の完成を目指す。	153	2				○	△	○
合計授業時数/単位数				要件該当授業時数/単位数							
3130				3110							

(留意事項)

- 申請するプログラムで受講可能な全ての科目について記入すること。
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 一の授業科目について、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について「○」を付し、その他の方法について「△」を付すこと。
- 実践的授業方法の種別については、実施要項の3(6)の①～④の要件に該当する授業科目について○又は△を付すこと。
- 授業時数/単位数については、推薦プログラムが正規課程で時間制の場合は単位時間数、正規課程で単位制の場合は単位数、履修証明プログラムの場合は時間数を記入してください。
- 合計授業時数/単位数については、受講者が受講可能な全ての科目（必修・選択必修・自由選択を問わない）の合計単位時間数等を記入すること。
- 要件該当授業時数/単位数については、企業連携、グループワーク、実務家授業、インターンシップのいずれかに該当する科目の合計単位時間数等を記入すること。